

【生徒の実態】

	第1学年	第2学年	第3学年
学力分析	保健体育の授業に積極的に取り組む姿勢は感じるが、授業中に説明した内容を覚えることが苦手である。また、なぜそうなるかななどの思考の部分や言葉で説明することが苦手である。	学習カード等の材料を活用しながら主体的に取り組める生徒が増えている。ワークシート等の記述内容を適切に表現できている生徒は半分まで届かない。今後、具体的な表現方法の指導が必要である。	主体的に取り組む生徒が多い。体を動かすことが好きな生徒も3年間で増えている。また、ワークシートの記述内容も自分の考えを表現できるなど年々向上が見られる。半面、記述が苦手な生徒が少数いる。
学習状況	1学期期末考査の結果から、基本的な学習の習慣が身に付いていないことが分かった。また、毎時間の学習カードの記入など、提出物に関しての意識も低い生徒が多い。	個別に指導を行うとカード記入や提出ができるが、全体指導の時点で完了する意識が低い生徒が多い。教科書をじっくり読まず、授業内で聞き取った音声のみで判断し記入する生徒が多い。提出物の重要性を感じていない生徒が多い。	授業規律は定着しており、安全への意識が高い。男女分け隔てなく協力する姿が見られる。定期考査においてもよく学習していると感じる生徒が多い。提出物については、一定の生徒が未提出である。
生徒アンケートの結果より	どの項目も肯定的な評価が多かった。教材の工夫について、「あまりそう思わない」という生徒がいたので、生徒がわかりやすい授業を目指し教材の工夫をしていきたい。	肯定的な評価が多いが、ICTなどの教材工夫についての評価で、「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」が50%ほどを占めているため、教材の工夫や、取り扱い回数を増やしていく。	肯定的な評価が多いが、改善点としてまとめの時間をしっかり確保し、生徒の振り返りがしっかり行えるようにする。また、保健の授業でICTを使用し、工夫しながら授業をしていく。

【授業改善の手だて】

	第1学年	第2学年	第3学年
改善計画	授業内の説明を、言葉だけでなく図や学習カードなどを使用し、視覚的に理解させるようにする。また、ICTを活用し、ペアやグループ学習を取り入れながら生徒同士が考える授業の展開をする。	授業の流れとともに、文字や図を見ながら説明を聞き取れるよう、ICTや拡大図などを活用する。ワークシート記入では、具体的な表現方法の指導や記入例を提示していく。	ICT活用場面と運動学習場面は単元を通して設定を行う。まとめの部分では、ペア活動や班活動を有効に使い、目標を明確にし、共有を丁寧に行う。
評価方法	授業の取り組みや振り返りを学習カードの記入を通して確認をする。また、単元ごとの実技テストを通して確認をする。	提出物の内容を通して定期的に確認する。実技テストを通じて確認をする。	授業改善の成果について、ワークシートの記入状況を定期的に把握し、確認する。また、毎時間の生徒の様子を確認し、変更を見る。